

G142		環境の科学	
英名科目名	Environmental Science		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教育学部 TEL: 075-645-7891 FAX: 075-643-5021		
担当教員	奥田 哲士		
開講期間	2021年09月20日(月)～2022年01月17日(月) 2講時 11時00分～12時30分(毎週月曜日) 9月20日(月)は祝日ですが、授業実施日です 10月18日(月)は学内行事のため休講です 12月22日(水)に、月曜14回目の授業を実施します		
開講形態	後期・秋学期	開講曜日・講時	月曜日 2講時
単位数	2	履修年次	2年次以降
会場	瀬田学舎		
授業定員			
単位互換生定員		京カレッジ生定員	
試験・評価方法	小テスト70% ほぼ毎回manabaにより授業終了時に行う(理由によらず欠席回の再テストは行わない)。 レポート30% 毎回行う(欠席回に出題分の提出は認めない)。		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	30,000円(単位互換履修生は不要)		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	単位互換定員には京カレッジ生も含まれます。 <b>【会場】</b> 龍谷大学瀬田学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に掲載します。  テキスト購入が必要で、予習を徹底した聴講に期待する。評価は毎回、manabaシステムを活用した小テストを行うが、初回にmanaba利用の注意点(追試を行わない事やカンニング扱い事項等)詳しく説明するので、初回、参加できない場合は初回以降、早急に担当教員に直接相談する事。		
パッケージ科目	環境学		
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
<b>講義概要</b> 環境問題は、鉱毒事件にはじまった公害問題、ダイオキシンなどの微量汚染物質問題、地球温暖化などの生活様式やエネルギー利用を根本的に考え直さなければならないような環境問題と移り変わっている。 本講義では、指定テキストを通じて、さまざまな環境問題の概要や本質、実態、対応や取り組みについて基礎知識を深めることに加え、今後どのようにすべきか(ソリューション)についての考察もしてもらう。			
<b>到達目標</b> さまざまな環境問題とその対策法の基礎知識を網羅的に身につける事ができ、新たな環境問題の解決法の立案についての基礎を確立できる。			
講義スケジュール			
1回目 ガイダンス、学修内容の概要、環境問題とは 2回目 環境問題の基本 3回目 大気・水の循環とエネルギー 4回目 各種物質の循環 5回目 マテリアルフロー等 6回目 各種環境指標・リスク等 7回目 温暖化の現状 8回目 温暖化の今後や対策技術等 9回目 大気環境 10回目 水環境・土壌環境 11回目 森林と砂漠化等			

12回目 生物多様性等	
13回目 都市化の問題(廃棄物と自動車を中心に:ワークショップも予定)	
14回目 ライフスタイル等(ワークショップも予定)	
15回目 ソリューション法等、確認テスト	
教科書	西岡秀三ほか 著『改訂新版 地域環境がわかる』(技術評論社) (ISBN:9784774171814C3044)
参考書	石川宗孝 編著/竺文彦 他著『環境読本 - 環境をいかに学び、いかに対処するか』(電気書院) (ISBN:97844485220160)